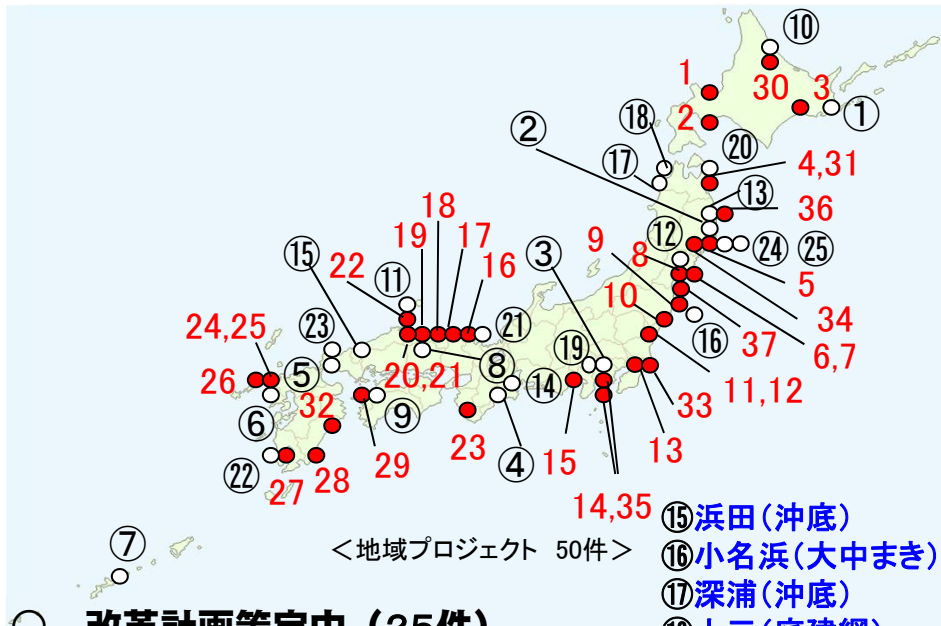


漁業構造改革プロジェクト進捗状況 (H23年4月現在)



○ 改革計画策定中 (25件)

- | | | |
|------------|------------|----------------|
| ①根室(定置) | ⑧網代(定置) | ⑬全国いか(いか釣り) |
| ②大船渡(さんま) | ⑨八幡浜(沖底等) | ⑭八戸(小底等) |
| ③遠洋まぐろ延縄 | ⑩紋別(沖底) | ⑮舞鶴(定置) |
| ④立神(真珠養殖) | ⑪境港(沖底等) | ⑯枕崎(遠洋かつお) |
| ⑤下関(沖底) | ⑫石巻(沖底) | ⑰萩(小型いか釣り) |
| ⑥野母崎(中まき等) | ⑬宮古・釜石(沖底) | ⑱気仙沼(近海まぐろはえ縄) |
| ⑦近海かつお・まぐろ | ⑭三重外湾(中まき) | ⑲気仙沼(さんま) |

● 改革計画認定済み (37件) うち操業開始30件

- 1 小樽(沖底): 生産体制の合理化<22年2月~改革型>
- 2 室蘭(沖底): 省コスト共通船型、操業協同化<21年9月~改革型>
- 3 釧路(沖底): 船内1次加工等による高付加価値化 <22年9月~改革型>
- 4 八戸(大中まき): 船団縮小(4→2隻)<20年4月~23年3月改革型>
- 5 気仙沼(近海まぐろ延縄): 省エネ省コスト、高鮮度保持<22年8月~改革型>
- 6 石巻(大中まき): 単船化、省エネ省コスト化<21年8月~改革型>
- 7 石巻(沖底・小底): 低コスト操業と高付加価値化<22年6月~改革型>
- 8 塩釜(遠洋底びき): 新規漁場(インドネシア)開発<21年8月マイルト>
- 9 小名浜(大中まき): 船団縮小(2ヶ統8→7隻)<21年10月~マイルト>

- 10 大津(大中まき): 船団縮小(4→3隻)<20年10月~改革型>
- 11 波崎(大中まき): 船団縮小(4→2隻)<21年8月~改革型>
- 12 波崎(大中まき): 船団縮小(4→3隻)<22年4月~改革型>
- 13 銚子(沖底): 小型化(74t→19t)、協業化<20年6月~改革型>
- 14 遠洋かつお一本釣り: 省エネ省コスト、高付加価値化<22年9月~マイルト>
- 15 静岡(大中まき): 船団縮小(6→5隻)<23年1月~改革型>
- 16 柴山(沖底): 耐候性漁船、高品質水揚げ<21年9月~改革型>
- 17 香住(べにずわい): 常設活魚艙導入<20年9月~改革型>
- 18 浜坂(沖底): 小型化(90t→65t)、省人化<21年9月~改革型>
- 19 網代(沖底): 省エネ、高鮮度保持<23年4月~改革型>
- 20 賀露(沖底): 省エネ船型導入<20年9月~改革型>
- 21 賀露(沖底): 省エネ、船凍出荷<改革型>
- 22 境港(べにずわい): 省エネ省コスト、高鮮度保持<21年9月~改革型>
- 23 紀伊水道(中まき): 船団縮小(9→7隻)<21年7月~マイルト>
- 24 遠旋組合(大中まき): 船団縮小(5→4隻)<21年1月~改革型>
- 25 遠旋組合(大中まき): 2船団グループ操業化<23年4月~改革型>
- 26 奈留(中まき): 5船団でトータルコストの削減<22年6月~マイルト>・省エネ省コスト、高鮮度保持<23年4月~改革型>
- 27 山川(海まき): 海外漁場(パプアニューギニア)の確保<21年11月~マイルト>
- 28 近海かつお・まぐろ(近海かつお一本釣り): 小型化(70t→19t)<23年4月~改革型>
- 29 愛媛(真珠養殖): 越物真珠生産<22年11月~改革型>
- 30 紋別(小型機船底びき): 省エネ化、衛生管理<23年3月~その他>
- 31 八戸(大中まき): 船団縮小(4→3隻)<改革型>
- 32 北浦(中まき): 6船団共同操業・共同運搬化<23年4月~改革型・マイルト>
- 33 銚子(沖底): 小型化(74t→19t)、船首ブリッジ導入<改革型>
- 34 遠洋まぐろ延縄: 船上ロイン加工、省エネ<マイルト>
- 35 遠洋かつお一本釣り: 一本釣りともまき網漁業によるハイブリッド化<改革型>
- 36 遠洋まぐろ延縄: 省エネ、脱血処理の徹底による付加価値向上<改革型>
- 37 巨理(小底): 小底と敷網漁業との兼業化<改革型>